

第4回 市営住宅プロジェクト委員会 主な意見

・出席者 ⇒市・事務局

●整備方針について

- ・玄関が引き戸の住宅を整備するのか。
⇒一般の住戸は住戸内の扉のみ引き戸を想定。ハンディキャップ住宅では玄関引き戸も設ける想定。
- ・屋内洗濯機置き場とあるが、リビングや居室を通過してベランダへ出ることになる動線が気になる。
⇒掲載している住戸プラン例はあくまで他市事例。プランは決まっているわけではない。
⇒まとめでは「効率的な家事動線」というキーワードをつけており、その具体的イメージとして住戸プラン例では水回りを集約するプランとしている。限られた住戸面積の中で、示す条件下で何を考慮して提案事業者が提案するかによることになる。

●市営住宅の管理について

- ・市営住宅を現在管理している住宅センターは人権文化センター内にある。今後も地域内で管理事務所の場所を確保できるとよい。
⇒今後地区内の跡地活用の中で整備することも可能性の一つとして今後検討していきたい。

●集会所の検討について

- ・集会所の計画は団地の入居者以外に、自治会も議論に参加して中身づくりを行うべき。
⇒集会所の機能に加わるすこやかにリビングの運営団体や、自治会に今の利用実態を聞くなどしながら、計画について今後検討していきたい。
- ・建物の外面など具体的なことについて議論できていない。
⇒基本計画は、事業者提案を求めるための基本条件を大まかに決めていくことが目的である。現時点で外面についても大きな整備方針を示している。これ以上細かく仕様を決めるのではなく、具体的な建築計画において民間事業者の提案・創意工夫の余地を残しているものと理解いただきたい。
- ・家族葬などのニーズも考えられるので、周辺地域の人も団地の集会所を使えるとよい。

●自治会と入居者組合、団地協議会など地域自治のあり方について

- ・集会所はかつて学校の懇談会を保護者や入居者組合の役員も交えて行っていた。集会所が中心となり、地域の文化・地域意識を育てていかなければ地域の結びつきは弱くなる。集会所を中心に、将来の文化育成のことを考え、地域づくりを担う町会や入居者組合に対して、市の支援を含めた話し合いを積み重ねてほしい。市と地域が一体となればよいものが作れると思う。
⇒集会所を中心に地域を育てていくというメッセージを追加したい。自治会が集会所を中心に活動できるような空間設計を行う、という条件を基本計画としてまとめる。
- ・従来の自治会と団地協議会はあまり関連性がなかったが、団地協議会と自治会の連携について考えることが重要。
・入居者組合は規約上団地全体で1本化したとしても、運営はそれぞれの住棟毎にするほうがよい。
⇒入居者組合をどのような単位で作っていくか、団地協議会と自治会との連携のあり方などについては、今後の検討課題としたい。

●まとめ

- ・これまでPJ委員会①～④で話し合ってきたことをまとめた計画案を検討会議に諮っていく。今後については、基本計画として方針を定めたものを、2月頃に市民説明会を開催し説明する予定である。